学校番号	１００４

平成３１年度　看護科

教科	看護科	科目	基礎看護Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「基礎看護」　（教育出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

看護に対する基本的理解事項を、様々な観点から学びます。２年次に学習した内容を基礎として、専門的な領域へと学習を深めます。そのため、学習に対する主体的な授業への取り組みを重視します。また、進路や興味・関心に応じて、自己のあり方を考えてもらいます。自己理解、適性伸張のための校内実習・実技試験等を実施します。グループ活動を通して、それぞれの役割の理解と相互援助を実感しながら、看護師・患者双方の立場で考えてみましょう。他者理解の意識を伸ばすために、意見の交換や発表も実施します。

2　学習の到達目標

・看護に関する興味・関心を高め、基本的なマナーと積極的な態度を養う。
・看護の本質と看護の意義について理解する。
・日常生活の援助と診療の看護の仕方について、いくつかを具体的に学習する。
・基本となる看護の手技について身につけ、実践できる。
・他者への関わり方、理解をすすめ、チームとして活動する意識を養う。
・生命倫理について学び、人の健康と生命を守ることへの心構えをつくる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	看護に関連する内容について関心を持ち、主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。	看護の基礎的･基本的な知識と技術を基に、より良い看護を行うために適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。生命倫理について考え、表現できる。	日常生活の援助及び診療と看護に関する基礎的･基本的な技術を身につけ、その技術を適切に活用している。	看護の各分野に関する基礎的･基本的な知識を身につけ、生命倫理や専門的な看護領域について理解している。
評価方法	授業態度 プリント記入 レポート記述 発問への反応 発表 実技	授業態度 プリント記入 レポート記述 発問への反応 発表 実技・実技テスト 定期考査	授業態度 プリント記入 レポート記述 発問への反応 発表 実技・実技テスト 定期考査	授業態度 プリント記入 レポート記述 発問への反応 発表 実技・実技テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1学期	日常生活と看護	病床環境の調節	1. 環境について 2. シーツ交換	○	○	○	○	a. 健康の回復にとって望ましい病床環境を整えるための方法について関心を持ち、主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。 b. 病床環境の調整について科学的に思考を深め適切に判断し、考えを表現している。 c. 病床環境を整えるために必要な基礎的・基本的技術を身につけ、その技術を適切に活用している。 d. 患者が快適な環境調整ついて理解している。環境調整のために使われる物品・手順等について理解している。	授業態度 プリント レポート 発問返答 発表 定期考査
	診療と看護	褥瘡の予防と手当て	1. 褥瘡とは 2. 予防と手当て(安楽な体位・体位変換)	○	○	○	○	a．褥瘡形成のメカニズムについて関心をもち，褥瘡予防における看護者の役割とその重要性の理解について主体的に取り組もうとするとともに，実践的な態度を身に付けている。 b．褥瘡の予防と早期発見及び発生時の手当てにおける看護者の役割について，科学的に思考を深め，適切に判断し，考えを表現している。 c．実習・演習などを通して，褥瘡の予防と早期発見及び発生時の手当てに関する基礎的な技術を身に付けている。 d．褥瘡形成のメカニズムを褥瘡発生の要因や誘因，好発部位等と関連させて理解している。褥瘡予防と早期発見及び発生時の手当てに関する基礎的な知識を身に付けている。	
	日常生活と看護	清潔の援助	1. シャワー浴 2. 洗髪台・洗髪車による洗髪		○ ○	○ ○		a. 人間にとっての清潔の意義と清潔保持の必要性について関心をもち、清潔の援助に、主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。 b. 身体の清潔の方法について科学的に思考を深め、適切に判断し、考えを表現している。 c. 清潔の援助に関する資料を読み取り、整理し、まとめている。体験・実習を通して、清潔の援助の方法について基礎的な技術を身につけている。 d. 身体の清潔と健康との関連、清潔の意義と清潔保持の必要性について理解している。清潔の援助方法について基礎的な知識を身につけている。	
	生命倫理	移植医療	「孤高のメス」		○	○		a．患者のクオリティー・オブ・ライフを重視した看護の必要性や高度医療における看護職としての使命や生命倫理の問題について関心を持ち、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に根ざした人間観、看護観を探究しようとしている。 b．患者のクオリティー・オブ・ライフを重視した看護の必要性や高度医療における看護職としての使命や生命倫理の問題について思考を深め、人間尊重の精神と生命に対する畏怖の念に基づいて適切に判断し、考えを表現している。 c．患者のクオリティー・オブ・ライフを重視した看護の必要性や高度医療における看護職としての使命や生命倫理の諸問題に関する資料を収集し、その意味を読み取り、整理し、まとめている。	
	生命倫理	終末期医療	ホスピス		○		○		授業態度 プリント レポート 発問返答 発表 実技実習 実技テスト 定期考査

							d．看護職の法的責任と任務及び看護の職業倫理を理解している。患者のクオリティー･オブ･ライフを重視した看護の必要性を理解している。	
	診療と看護	罨法	1. 罨法とは 2. 氷嚢・湯たんぽの扱い		○	○	○	a．温度刺激に対する生体の反応について関心をもち，安全で効果的な罨法を行う方法に主体的に取り組もうとするとともに，実践的な態度を身に付けている。 b．安全で効果的な罨法を行う方法について，科学的に思考を深め，適切に判断し，考えを表現している。 c．体験・実習などを通して，安全で効果的な罨法を行うための基礎的な技術を身に付けている。 d．温度刺激に対する生体の反応について理解している。
		心電図	1. 心電図検査と看護 2. フィジカルアセスメント(聴診・脈拍測定・血圧測定)	○ ○	○	○	○	a. 診断の過程における検査の意義及び患者の心理に関心をもち，診察や検査における看護者の役割に主体的に取り組もうとするとともに，実践的な態度を身に付けている。検査時観察することの意義と重要性に関心を持ち、主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。 b. 診察や検査における看護者の役割について，患者の心理の理解を基に，思考を深め，適切に判断し考えを表現している。 c. 体験・実習などを通して、安全かつ正確に観察する技術を身に付け、観察結果を適切に記録・報告している。 d. 診断の過程における検査の意義及び患者の心理，看護者の役割について理解している。それぞれの測定の原理や影響を与える因子などを理解し、正確に観察するための知識を身につけている。
	日常生活と看護	食生活の援助	1. 食事の意義･食事療法と栄養法 2. 食事介助と口腔の清潔	○	○	○	○	a．人間にとっての食事の意味や食事に影響を及ぼす心身の状態や環境条件等に関心をもち，患者の状態に応じた安全で安楽な食事の援助について主体的に取り組もうとするとともに，実践的な態度を身に付けている。 b．患者の状態に応じた安全で安楽な食事の援助を行う方法に対し科学的に思考を深め，適切に判断し考えを表現している。 c．患者の状態に応じた安全で安楽な食事の援助を行う方法に関する資料を基に、体験・実習を通して，安全と安楽に配慮した食事の援助に関する基礎的な技術を身に付けている。 d．食事の意味や食事に影響を及ぼす心身の状態や環境条件等について理解している。食事の種類や主な治療食，摂取方法について理解している。
		排泄の援助	1. 排泄のメカニズム	○			○	a．排泄に影響を及ぼす因子及び排泄障害の発生原因に関心をもち，自然排泄の援助について主体的に取り組もうとするとともに実践的な態度を身に付けている。 ・排泄の援助を行う場合に必要な患者のプライバシーや羞恥心への配慮について主体的に取り組もうとするとともに，実践的な態度を身に付けている。

			2. 排泄の援助		○	○		b．排泄の援助を行う場合に必要な患者のプライバシーや羞恥心への配慮及び看護者に求められる望ましい対応の仕方について思考を深め，適切に判断し，考えを表現している。 c．患者の状態に応じた排泄の援助において看護者に求められる望ましい対応の仕方に関する資料を収集し，その意味を読み取り，整理し，まとめている。体験・実習を通して，患者のプライバシーや羞恥心に配慮した自然排泄の援助に関する基礎的な技術を身に付けている。 d．排泄に影響を及ぼす因子及び排泄障害の発生原因の概略を理解している。援助を行う場合は患者のプライバシーや羞恥心への配慮が必要であることを理解している。	
3学期	診療と看護	与薬	1. 薬物の体内動態と看護上の注意点	○			○	a．処方から与薬後の観察・評価までの一連の与薬の過程に関心をもち，それぞれの過程における看護者の役割に主体的に取り組もうとするとともに，実践的な態度を身に付けている。 b．処方から与薬後の観察・評価までの一連の与薬の過程と，それぞれの過程における看護者の役割について，安全で正確な与薬をするための基礎的な知識と技術を基に科学的に思考を深め，適切に判断し，考えを表現している。 c．実習・演習などを通して，内服薬の与え方について、安全で正確な与薬をするための薬物の管理や、取扱い方法に関する基礎的な技術を身に付けている。 d．処方から与薬後の観察・評価までの一連の与薬の過程とそれぞれの過程における看護者の役割について理解している。内服薬の与え方に関する基礎的な知識を身に付けている。安全で正確な与薬をするための薬物の管理や取扱いに関する基礎的な知識を身に付けている。	授業態度 プリント レポート 発問返答 発表 実技実習 定期考査
			2. 与薬実習		○	○			
	まとめ	総合実習	看護を学んで		○	○		a．患者の状態に応じた適切な看護を行うことに関心をもち，看護の一連の過程に主体的に取り組もうとするとともに，看護を展開する実践的な態度を身に付けている。 b．患者の状態に応じた適切な看護について，基礎的な知識と技術を基に適切に判断し，考えを表現している。 c．患者の状態を科学的な視点で観察し，患者の情報を総合的に把握して看護の必要性を判断し，看護の一連の過程を整理し，まとめている。看護の方法に関する基礎的な技術を身に付けている。 d．患者の状態に応じた適切な看護を行うためには，看護の一連の過程に沿って看護上の問題を解決することが重要であることを理解している。	

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：技能　　d：知識・理解

※　原則として一つの単元（教材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。